“市議会議員を体験”　地域お仕事発見隊



７月23日、第６回地域お仕事発見隊～もし自分が議員になったら～を議場で開催しました。飛騨地域の小中学生10名に参加いただき、選挙で選ばれたこども議長の進行により「高山市がこんなまちになったらいいな」というテーマで発表を行いました。

発表では、「こどもが活躍できるまち」、「世界一きれいなまち」、「リサイクルに力をいれるまち」など、未来のまちへの思いを発表し、それに対してこども議員から活発な意見がありました。



参加したこども議員からは「貴重な体験ができてよかった」など感想を話してくれました。今後も引き続き、市民の皆さんに議会を身近に感じていただけるような取組を行っていきます。



ぎかいだよりに掲載する 写真 を募集しています

議会広報紙がより身近なものとなるように、市民の皆様から、ぎかいだよりの表紙や紙面で使用する写真を募集しています。

募集要項は、市議会ホームページ（右下の二次元コードから）で確認できます。応募は、個人に限らず、団体や学校等で撮影いただいたものでも可能です。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

次号令和9年2月1日発行の**ぎかいだより第66号**の写真の応募締切は**令和8年12月15日㈫**です。

◆ 申し込み・問合わせ
高山市議会事務局
TEL 0577-35-3152 ／ FAX 0577-35-3170
mail　gikai@city.takayama.lg.jp

市議会ホームページ
ぎかいだより
表紙写真募集へ ☞

編集後記

長く厳しい暑さが続いた夏も過ぎ、飛騨の山々も秋の装いを深める季節となりました。

8月30日に行われた高山市長選挙を経て、田中市政の2期目がスタートしました。人口減少や少子高齢化、地域経済、防災など、本市を取り巻く課題が山積する中、市政と議会がそれぞれの役割を果たしながら、市民の皆様の声をまちづくりにつなげていくことが、これまで以上に求められています。

一方、この夏の記録的な猛暑や各地で相次ぐ豪雨災害は、気候変動が私たちの暮らしに身近な問題であることを改めて感じさせました。「これまでにない」が「いつ起きてもおかしくない」時代を迎え、防災・減災への備えとともに、将来を見据えたまちづくりの重要性も増しています。

議会だよりが、市政や議会、そして高山市のこれからを考えていただく一助となれば幸いです。